

「イヴァーナ・ブルリッチ=マジュラニッチとスラヴ神話」

講師 栗原成郎（東京大学名誉教授）

日時：2008年11月19日（水） 16:30—18:00

会場：大阪大学大学院文学研究科（豊中キャンパス）

待兼山会館2階会議室（参加無料）

アクセス：阪急宝塚線石橋駅より徒歩15分；大阪モノレール柴原駅より徒歩10分

～講師プロフィール～

ロシア語、ロシア文学、スラヴ文献学者。文学博士（東京大学、2005年、学位論文「ロシア俚諺語法の研究」）。

1934年東京生まれ。東京教育大学文学部卒、同大学院文学研究科修士課程修了。東京大学文学部教授、北海道大学文学部教授、創価大学教授。現在、東京大学名誉教授。

著書に『ロシア異界幻想』（岩波新書、2002）、『吸血鬼伝説』（河出書房新社、1995）、『スラヴのことわざ』（ナウカ、1989）など、訳書にプーシキン『ボリス・ゴドゥノフ』、アンドリッチ『呪われた中庭』など。

Ivana Brlić-Mažuranić (1874-1938)

クロアチアの詩人イヴァン・マジュラニッチの孫娘。家庭教師につき教育を受け、ヨーロッパの主要言語を習得した。政治家のブルリッチと結婚。最初は自分の子供たちのために作品を書いたが、彼女の文学的視野は子供の世界から大人の世界へと次第に広がっていった。古代スラヴ神話の神々や妖精たちが活躍するおとぎ話の幻想世界を復活させ、その世界に取り込まれる人々の不思議な冒険を描くことに成功した。「クロアチアのアンデルセン」と呼ばれ、ノーベル文学賞の候補者に二度指名された。（『ポケットのなかの東欧文学』解説文より抜粋）

邦訳：

中島由美訳『巨人レーゴチ』（福音館書店）
せこぐちけん訳『フラピッチのふしぎな冒険』（新風舎）
山本郁子訳『見習い職人フラピッチの旅』（小峰書店）
栗原成郎訳「ストリボールの森」（『文学の贈物』、未知谷、所収）
栗原成郎訳「漁師パルンコとその妻」（『ポケットのなかの東欧文学』、成文社、所収）



お問い合わせ：大阪大学大学院人間科学研究科 GCOE
プログラム「コンフリクトの人文学」事務局

Tel: 06-6879-4046

e-mail: gcoejimu@hus.osaka-u.ac.jp